

～台湾日本人会の活動のご紹介と 入会のお誘い～

一. 台湾日本人会とは

台湾は歴史的にも日本とは特別な関係にあり、親日的な方が多く、街では日本語がかなり通じ日本の商品・情報が溢れており日本人にとっては非常に居心地が良い国だと言えます。このように恵まれた環境の中でも日本人会に入会する意味は？ 利点は？ どういう活動をしているのか？ 等の疑問をお持ちの方もおられるかも知れません。ここでは簡単に台湾日本人会の活動についてご紹介させていただきます。

台湾日本人会は1961年に設立され内政部に登録した唯一の全国規模の人民団体組織で、交流協会や工商会と共に台湾の日本人社会を支える3つの基盤の一つとしての位置づけになっています。

台北の他、台中と高雄に支部があり、会員は台湾に居住する20歳以上の日本人（個人会員及び夫婦会員）と台湾に事務所を持つ日系企業（法人会員）で構成され、会員数は2012年12月末時点で個人と夫婦会員2,663名、法人会員代表者290名を併せて2,953名です。又、一定の条件を満たせば入会が認められる準会員も台湾の方が約60名おられます。因みに交流協会へ在留届を提出している日本人居留者は約1万5千人です。各地域の日本人会では各々地元の日系企業、自営業、長期在留者や国際結婚をされた方、留学生、日本人学校及び交流協会等と連携しながら地元に着した活動を行っています。

日本人会の会則が2011年と2013年の総会で大幅に改正され、「開かれた日本人会」「役に立つ日本人会」へと大きく変わってきました。特に311大震災の後、入会される方の数が大変増えてきています。

二. 日本人会の主な役割

① 日本人学校の円滑な運営が最も重要な役割です

学校規則には保護者は台湾日本人会の個人会員であることと記載されています。台北、台中、高雄にある日本人学校（小中学部）は、この台湾日本人会が設立母体となっています。必要経費は保護者からの授業料や入学金、施設関

連費、企業寄付金、及び日本政府の援助で賄っており、学校運営委員会を中心に自主的に運営されている私立学校との位置付けです。安全、安心、安定を第一に学校、PTA、工商会、交流協会と一体となり運営に当たると共に、必要に応じて日台両政府の主管部門等とも折衝し、学校の円滑な運営に鋭意取り組んでいます。

② 安全、安心な生活ネットワーク構築を目指しています

海外生活ではやはり緊急時の情報が不可欠となってきます。日本人会では安全対策委員会を組織し、緊急時の情報が素早く会員まで届くよう交流協会とも連携の上でネットワーク作りを進めています。現在は携帯電話のSMSの活用を中心に取り組んでおり、既に1000名以上の方に登録頂いています。又、日常的な連絡ツールであるeメールも重要な伝達手段となっていますので、こちらも併せて登録をお願いしています。

③ 会員に役立つ生活情報や便利情報を発信しています

台北では月刊会報誌『さんご』や3年に一度のタウン情報誌『たからじま』、ホームページやメールを通じて鮮度の高いイベント情報、催しもの等の案内を行っています。又、婦人部会では日本人会会員証の提示による割引などの優待店ネットワーク作りを進めています。外部団体が主催する各種イベント等も会員にとり有益なサービスや公共性があるものは積極的に会員への案内等を出して支援しています。（例えば中国語検定試験など）

④ 会員間の親睦や友好団体との連携の輪を広げ、台湾の人達との草の根交流を進めています

多くの在留邦人の方は既に色んなグループで自主的な活動をしておられますが、これらグループとも連携の輪を広げています。例えば長期在留者の「フォルモサ会」、「なでしこ会」、「居留問題を考える会」、「台北日本語授業校」等とは緊密な連携を取っています。又、「ロータリー倶楽部」、「台湾歌壇」や「友愛会」、「玉蘭荘」等の日系社会と深い関わりを持つグループや団体とも連絡を密にしています。日台の絆・交流を深める案件としては「2011年NHKのど自慢」や「2013年宝塚歌劇団公演」の支援、又、311大震災では率先して義援金募集を行い、その後も留学生ボランティアが取組んでいる「謝謝台湾イベント」を通じて被災地支援活動をしています。更に台湾で亡くなった方々の物故者慰

靈祭を台北、台中、高雄で毎年11月に開催しています。尚、会員が中心となり自主的に運営されているスポーツ系や芸能・文化系の活動にも日本人会の各部会が支援を行っており、現在は5つの同好会（ラグビー、テニス、コーラス、コントラクトブリッジ、カラオケ）が登録されており、今後もこのような同好会の輪を拡げていきます。

三. 台湾日本人会の組織と構成について

① 理監事会

3月の定例総会で23名の理事と5名の監事が選ばれ、理監事の中から理事長と常務理事2名、常務監事が選出されます。2カ月毎の理監事会で重要事項が決定されますが日常業務は理事長/常務理事が事務局と連携を取りながら円滑な運営を図っています。理監事メンバーには主に企業、長期在留、婦人や支部代表の方々が入っており、又、交流協会からも理監事会の顧問を、日本人学校校長もオブザーバーとして参加、助言を頂いています。

28名の理監事メンバーは各部会、委員会の部会長・委員長を理事長からの委嘱で分担しています。

② 聯合事務局

理事長と理監事会を補佐する立場で事務局があり、現在は工商会との聯合事務局に総幹事以下計7名が配置されています。総幹事、副総幹事は兼任となっており、日本人会専任の担当は女性3名です。事務局の主な役割は理監事会承認の重要事項の円滑な施行、各部会・委員会活動を支援すること、会員向け各種サービスや情報発信の提供等です。

③ 委員会・部会の活動

現在、理監事会の下に7つの部会と2つの委員会があり、7部会は主に様々な行事イベントの企画運営を担当し、会員向けサービス提供を行っています。学校運営委員会と安全対策委員会の2委員会は特に重要と位置付けられる「学校」と「安全」に関わる事項に取り組んでいます。

会員が日本人会の活動に通常参加される行事としては新年会や学校夏祭り等があります。又、毎月の『さんご』で会の活動状況を知ったり、メールでのイベント情報を受け取ったり、携帯SMSで緊急メッセージを受け取ったりすることが出来ます。会員の方が更に積極的に活動に参加され

る場合は、各部会の行事イベントに参加する、又はご自分が関与する同好会を日本人会公認の同好会として登録し、他の会員向けに新規会員募集やイベント告知等のサービスを情報発信することが出来ます。各部会や委員会の運営を支えているのは事務局と共に運営メンバーの方達で、企業の中堅社員や御婦人方を中心にボランティアで貢献して頂いています。

以下、個々の各部会・委員会の活動を紹介致します。

<文化部会>

毎年12月に忠孝そごう百貨店で開催の「ふれあいフェスティバル」は2013年には25回目を数える恒例行事です。台北在住の会員や台湾人の方に音楽、踊り等各サークル活動の日頃の練習の成果を発表する場を提供しており、例年8百名程度の方が来場されます。運営面では多くの企業協賛金や商品提供等の支援を得ています。プログラムは日本人学校の児童生徒の和太鼓の他、同好有志によるコーラス、ダンス、日舞、カラオケ、バンド演奏があり、最後には大抽選会など盛り沢山の演目があります。又、会場では婦人部会サークルの書道、中国画、切り絵、中国結び等の作品展示もあります。

尚、文化部会傘下には有志によるカラオケ同好会があり土曜日の午後に活発な練習会を続けておられます。

<日台交流部会>

日台の文化交流と友好促進を図るべく各種の行事・イベントを支援する部会です。台湾人学生の日本語弁論大会、311震災支援日本感恩活動、台日学生交流会議、国際ギターコンサート等のイベントに幅広く支援を行っています。名義協賛の他、場合によっては寄付支援や企業への資金援助の呼掛けを行っています。又、本部会が重点的に取り組んでいる活動として、国際結婚をした日本人お母さん達を中心にボランティアで我が子に日本語教育を毎週土曜日に行っている「台北日本語授業校」には長年に亘り物心両面の支援を行っています。この授業校は2013年に日本政府からも正式な支援校として認定されました。又、これらの活動は現在、「台湾継承日本語ネットワーク」として台湾内の他の日本語補習校（台北、高雄、台南、嘉義、台中、新竹、桃園）と広がりを見せています。

＜体育厚生部会＞

毎年秋に親子間交流として家族で参加できるハイキング、ソフトボール大会、ドッジボール大会を開催、10月にソフトボール大会を基隆河畔の迎風壘球場で、11月に六福村への日帰りバス旅行ハイキング、12月にドッジボール大会を日本人学校体育館で実施しています。又、6月の台北市主催の基隆河ドラゴンボート大会には会員も募って2艘が出場しています。

同好会にはS T Cテニス倶楽部があり、秋には愛好者を募っての全台湾テニス大会を開催しています。ラグビー同好会のファイブウッズは東南アジア遠征も行う他、311被災地の釜石少年ラグビーチームを台湾に招待し日台交流促進にも貢献しています。

六福村ハイキング
(体育厚生部会)



＜ゴルフ部会＞

メンバー同士の切磋琢磨によるゴルフ技量とマナーの向上、会員間の親睦交流を目的として運営されています。月例会は毎月第3日曜日に名門の老淡水ゴルフ場で10組程度にて開催されています。競技に参加するには先ずゴルフ部会の会員（別途会費あり）になりハンディー登録をした後となります。月例会の他、5月の日本人会理事長杯、10月の交流協会代表杯の特別冠大会があります。婦人会員の月例会は平日に様々なゴルフ場で開催されています。ゴルフ初心者からシングルまで幅広い方が、ゴルフの基本ルールとマナーを大切にしながら和気藹藹と楽しくプレーされています。



ゴルフコンペ

＜婦人部会＞

婦人部会では春秋に定期サークル活動を企画実施しています。最近では中国語会話・剪紙・書道・飾り結び・ヨガ・中国画・ビーズ・パーチメントクラフトの8講座が開催されています。定期サークルは春秋に各12回開催（事務局の会議室を使用）、各サークル開講の目安は20名程度、著名講師の指導の下での受講と情報交換等の楽しい場となっています。定期サークル以外にも臨時の体験・講習会等も随時開催しています。又、日本語世代の方々を対象とした日本語によるケアを行う福祉施

設の玉蘭荘恒例バザーには婦人部会から運営ボランティアとして応援に駆け付けています。

更に台北市内のレストランや他のサービス業の優待お店リストを婦人目線で厳しくチェックして厳選したお薦めのお店を増やしていく活動にも取り組んでいます。現時点では「老爺ホテル」、「さぼてん(とんかつ)」、「フォルクス(ステーキハウス)」、「カラダファクトリー」、「紀伊國屋書店」の5店が登録されています。尚、婦人部会の下に「元気っ子倶楽部」という0～4歳位までの乳幼児とお母さんの集まりがあり、毎週一回事務所の子供室でお母さんと乳幼児が楽しく遊びながら子育てと情報交換をされています。傘下の同好会としてはトランプの「コントラクトブリッジ」を支援しています。

<会報部会>

月刊会報誌『さんご』の企画、取材、編集、発行を担当している部会です。『さんご』は既に500号を超える40年以上の歴史があり毎月約3千部(会員無料)が発行されています。「行ってみよう食べてみよう」や「代表者リレー随筆」「交流協会便り」「日台の絆」等の好評記事も多く、日本人会の顔として大事な役割を果たしています。タウン情報誌『たからじま』も3年に一度の頻度で内容を更新し、生活ガイドブックとして信頼できる病院の紹介や、中国語の医療用語特集等を掲載した生活に密着した内容となっています。『たからじま』は日系大手書店でも一般販売しています。又、部会主催で毎年夏に台湾国内の日帰りお楽しみツアーを実施、個人では普段は中々行きにくいような場所をプロのガイドの案内で旅行できるのは毎回大変好評です。



会報部会企画日帰りお楽しみツアー



<総務部会>

1月の新年会、3月の定例総会、11月の物故者慰霊祭等のような日本人会の定例行事イベントの円滑な運営の裏方として活動しています。又、NHKのど自慢等の臨時の大型イベントがあれば実行委員会メンバーの中核として実施運営に側面協力しています。又、理監事会の特命受け皿としての役割や、行政院移民署等との定期交流会等の機会には積極的に参加し現地在留者の生の声を関係当局に届けるようにしています。

＜安全対策委員会＞

台風・震災等の自然災害、新型インフルエンザ等の感染症、原発事故等の緊急時を想定し、交流協会と連携して会員への日頃の防災意識向上の啓蒙活動の一環として安全講習会や警察ラジオでの日本語演習放送の実施、又、交流協会の「台湾在留邦人安全の葉」にも編集・配布での協力を行ったり、台湾当局の実施する地域住民防災訓練にも安全対策委員会メンバーが代表参加しています。会員には緊急時連絡用ネットワークとして携帯電話のSMS登録を呼び掛けています。海外における安全確保にはまずは自ら油断せずに日頃から周到準備することの啓蒙と共に、SMS連絡ネットワークの構築を最優先と位置付けています。

＜日本人学校運営委員会＞

台湾日本人会が設立した日本人学校（小中学部）はこの委員会によって運営されています。学校が安全な環境で、充実した教育内容で、安定した円滑経営を行い、子女が日本にいる時と同様の教育を受けられるということは在留邦人にとっては大変重要な意味を持っています。学校運営委員会は隔月で開催され、重要事項の審議や決定を行い、必要に応じて関係当局との折衝も行います。運営委員会は日本人会、学校、PTA、交流協会、工商会代表等のメンバーで構成されており日本人会の理事長が学校運営委員長を兼ねています。台北、台中、高雄の日本人学校には合計約1千人の児童生徒が通学しており、台北日本人学校の児童生徒数の規模は世界でも6番目となっています。重要イベントの夏祭りは学校とPTAに交流協会と日本人会も加わり4者による実行委員会を実施しています。学校の児童生徒向けのプログラムが中心ですが、地域交流や日台親善にも沿ったプログラムも加味したものとなっています。又、2012年度は今後の将来の校舎建て替え、修繕などの為の資金積み立て等の安定的な運営の体制作りには資すべく施設設備費の値上げ、施設利用費の新設を決定致しました。

四. 年間の主な行事日程（2012年度の実績）

1月上旬	新年会（台北市日本工商会との共催）於国賓大飯店
3月上旬	定期総会、於国賓大飯店（総務部会）
4月中旬	春のサークル/4～7月、全12回（婦人部会）
5月上旬	日本人会理事長杯ゴルフ大会（ゴルフ部会）
6月中旬	ドラゴンボート大会（体育厚生部会）
6月下旬	1日近郊ミニツアー（会報部会）

7月下旬	学校夏祭り(学校・PTA・交流協会・日本人会合同の実行委員会)
9月上旬	秋のサークル/9~12月上旬、全12回(婦人部会)
9月下旬	テニス大会(体育厚生部会後援)
10月上旬	ソフトボール大会(体育厚生部会)
10月中旬	台北日本人学校スポーツフェスティバル(日本人学校)
10月下旬	交流協会代表杯ゴルフ大会(ゴルフ部会)
11月上旬	六福村ハイキング(体育厚生部会)
11月中旬	日本人物故者慰霊祭/台北・台中・高雄(総務部会)
12月上旬	ふれあいフェスティバル/音楽・展示会(文化部会)
12月中旬	ドッジボール大会(体育厚生部会)

物故者慰霊祭(台北)



五. 台湾日本人会施設の利用

中山北路二段の事務局オフィスにはラウンジ、2つの会議室、図書室、子供室があり、施設利用は平日の9~17時までとなっています。会議室は主に日本人会と日本工商会の理監事会や部会、婦人部会サークル等の活動が占めていますが、会員は施設利用申請ができます。子供室は一般には開放していませんが、図書室とラウンジは会員個人での利用が可能です。図書室の書籍・雑誌を会員は自由に無料で借用閲覧できます。

尚、在庫書籍は主に駐在員の帰国時に寄付頂いたもので、新規では台湾関連の書籍を少しずつ購入しています。

<ラウンジの利用>

ラウンジには日経新聞、週刊文春、NNAやチラシ配布物が置いてあります。又、無線Wi-Fiが繋がります。企業からご提供頂いたマッサージ機や血圧計が利用でき、会員ご意見承り箱も置いてあります。チラシは会員が関与しているもの、会員に役立つものであれば事務局の承認の下で配布用設置も承諾しています。壁の掲示板にもイベント情報等を貼りだしており、御希望があれば会員間の情報交換メモにも御利用できます。

＜広告物掲載や寄付金の取り扱い＞

『さんご』への広告は会報部会の石原印刷が、ホームページのバナー広告の問い合わせは事務局が窓口となっています。これらの収入は日本人会活動の運営費の一部に充当されています。又、日本人会では非会員を含めた善意の方からの寄付金申し出は理監事会承認の下で受付けていますので事務局とご相談下さい。

六. 台湾日本人会入会申し込み

＜年間会費と入会金＞

2013年3月8日の定例総会で会費の改定が承認されました。新会費は次の通りで2014年度からの適用、但し入会金は据え置きとなっています。

新会費

(年額 法人会員 10,000元/口	入会金 1,000元)
(年額 夫婦会員 3,000元	入会金 1,000元)
(年額 個人会員 2,000元	入会金 500元)
(年額 準会員 1,500元	入会金 500元)

旧会費

(年額 法人会員) 7,000元
(年額 夫婦会員) 2,000元
(年額 個人会員) 1,300元
(年額 準会員) 1,000元

※会費は入会初年度においては入会時期によりその年度の残存月が6か月以上の場合には満額として、6か月未満の場合には年会費は半額です。

留学生、70歳以上のシニアの方の会費は半額です。

今回の会則改訂で

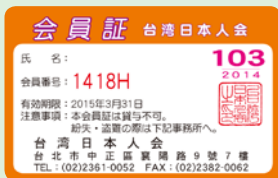
- ①法人会員企業の役員、社員、家族が個人会員、夫婦会員、準会員に入会する場合は入会金は免除されます。
(適用は2013年4月以降)
- ②会費徴収対象期間を従来の1～12月から4月～翌3月に変更しました。
- ③継続会員の会費支払い時期を従来の1～3月から1～4月に変更しました。

☆邦人の入会申請には必ず居留証のコピーをご提出下さい。又、個人情報管理法に基づく同意書にもサインをお願い致します。準会員には個人会員、法人代表等の正会員3名の推薦が必要となっています。

＜会員カード＞

日本人会会員カードは毎年発行される紙の会員証（会員番号入り）と、クレジット機能付きのイオン日本人会提携カードの2種類があり選択できます。

紙の会員カードでは会費は事務局窓口での現金支払いか指定銀行振り込みとなります。イオン提携カードではコンビニでの支払い、ATMからの振り込み、銀行口座自動引落とし（事前登録が必要）等、色々な支払い方法が選択できます。又、イオンカードが提携しているレストラン等での割引サービスが利用できます。



七. 台湾日本人会へのお問い合わせ

入会手続きや色々な活動や施設利用のお問い合わせは下記の事務局までご連絡下さい。スタッフは工商会との聯合事務局で総幹事以下7名です。全員日本語での対応が可能です。入会申請フォーム等の関係書類は日本人会ホームページからダウンロード出来ます。

住 所：10046 台北市中正区襄陽路9号(富邦城中大楼7楼)

電 話：2361-0052

F A X：2382-0062

e-mail：jatwn@ms27.hinet.net

H P：台北市日本工商会

www.japan.org.tw/newsite/2010/koushoukai/

台湾日本人会

www.japan.org.tw/newsite/2010/nihonjinkai/

お問い合わせ時間 09：00～17：30

土・日曜日・祝祭日は休み

日本人会担当 総 幹 事 山本幸男

副 総 幹 事 黄俊傑

入会手続き 高雅琴

行事イベント 蔡家津、林理果



日本人会の位置

